



2019年3月期 決算説明会



2019年5月17日

セイノーホールディングス株式会社
(9076)

➤ 2019年3月期の実績	(P03~)
輸送事業	P05
自動車販売事業	P08
➤ 2020年3月期 業績予想	P09
➤ 中期経営計画	(P10~)
「バリューアップ チャレンジ 2020~成長へのテイクオフ~」	P10
輸送事業	P13
ロジスティクス事業	P20
国際	P21
O.P.P 福山通運	P22
O.P.P 阪急阪神HD	P23
お買い物サービス	P24
物品販売	P25
情報販売	P26
人材戦略	P27
不動産戦略	P28
安全	P29

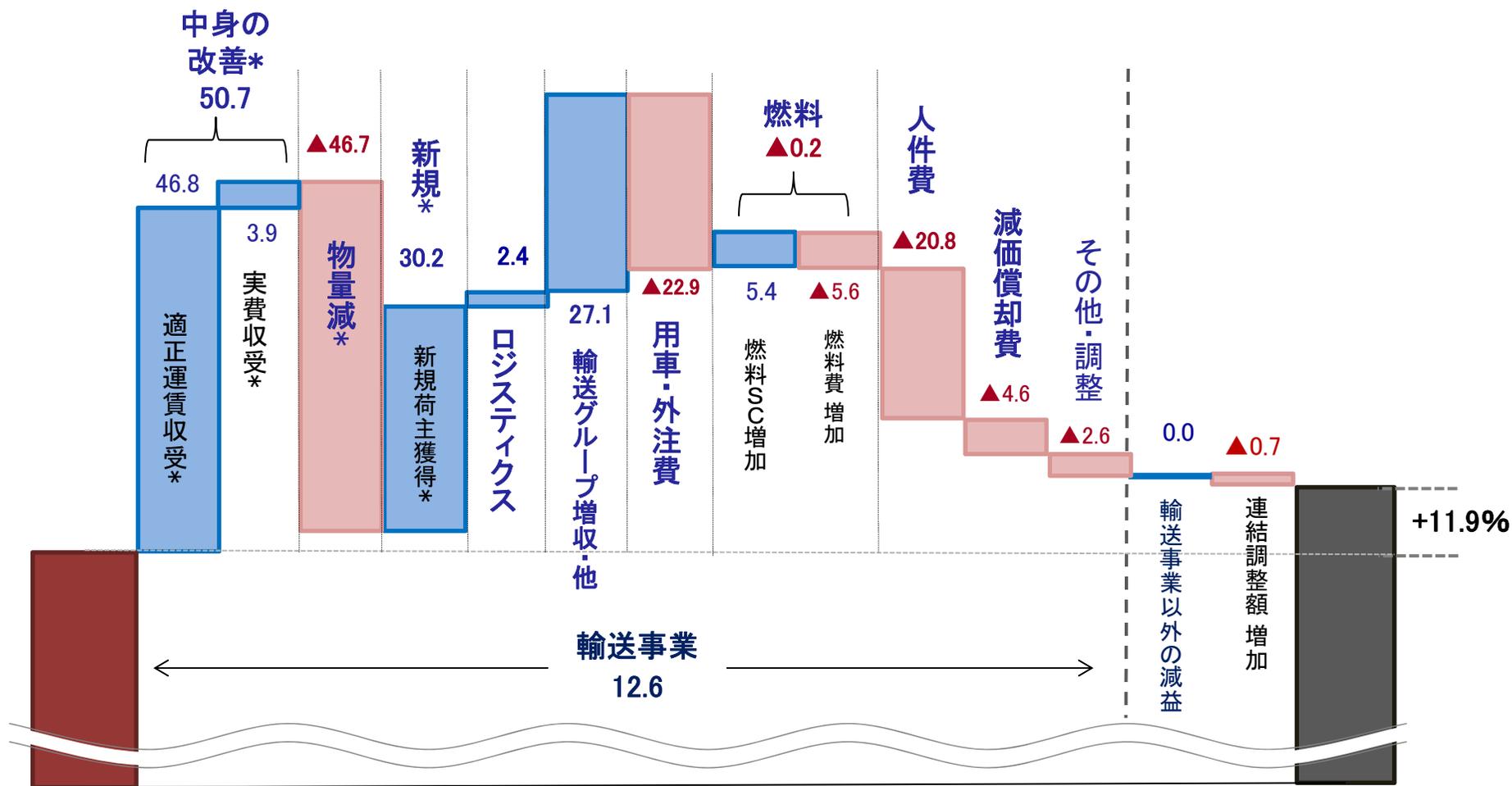
セグメント別 売上高・営業利益

(単位:百万円)

	売上高				営業利益			
	18/3	19/3	増減額	増減率	18/3	19/3	増減額	増減率
輸 送 事 業	443,167	462,459	19,291	4.4%	20,965	24,475	3,509	16.7%
自動車販売事業	103,342	102,233	▲ 1,108	▲1.1%	4,922	4,850	▲ 71	▲1.5%
物品販売事業	31,575	33,518	1,942	6.2%	809	829	19	2.4%
不動産賃貸事業	1,598	1,651	52	3.3%	1,239	1,334	95	7.7%
そ の 他	16,445	18,574	2,128	12.9%	920	901	▲ 18	▲2.0%
調 整 額	-	-	-	-	▲ 978	▲ 1,182	▲ 203	-
合 計	596,130	618,436	22,306	3.7%	27,879	31,209	3,330	11.9%
経常利益					29,120	33,629	4,509	15.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益					20,046	21,216	1,170	5.8%
ROE (自己資本当期純利益率)					5.2	5.2	-	-

- 営業利益は10期連続、売上高・経常利益は4期連続、親会社に帰属する当期純利益は2期連続で増収増益
- 売上、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益は、いずれも過去最高

利益創出の主要因

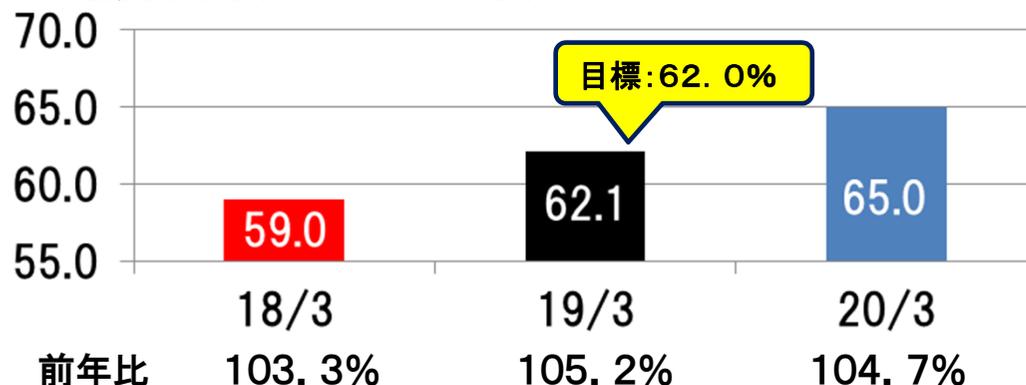


注) *西濃運輸

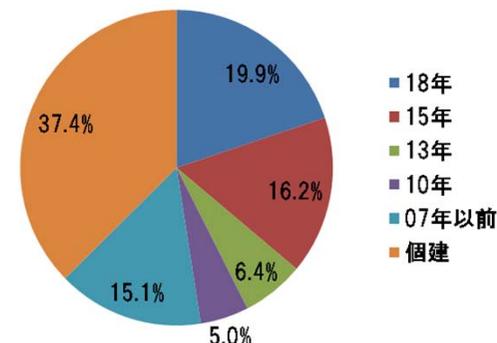
19/3

運賃政策(適正運賃收受)

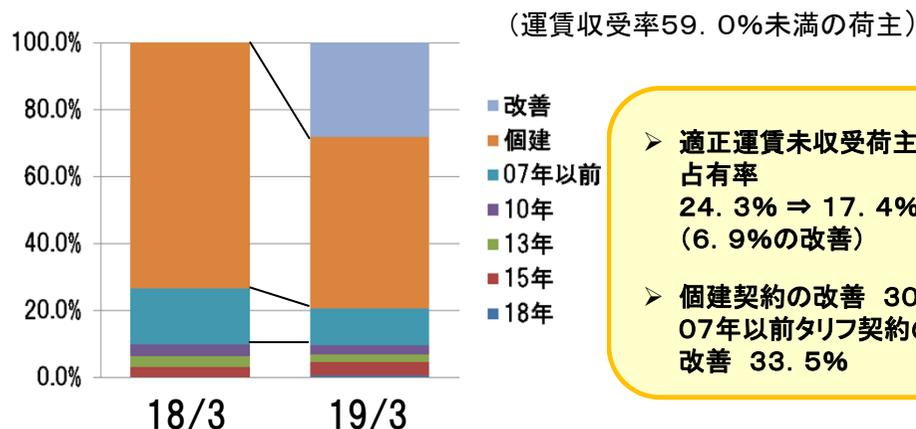
運賃收受率 (10年タリフ換算)



2019年3月 契約別荷主数分布



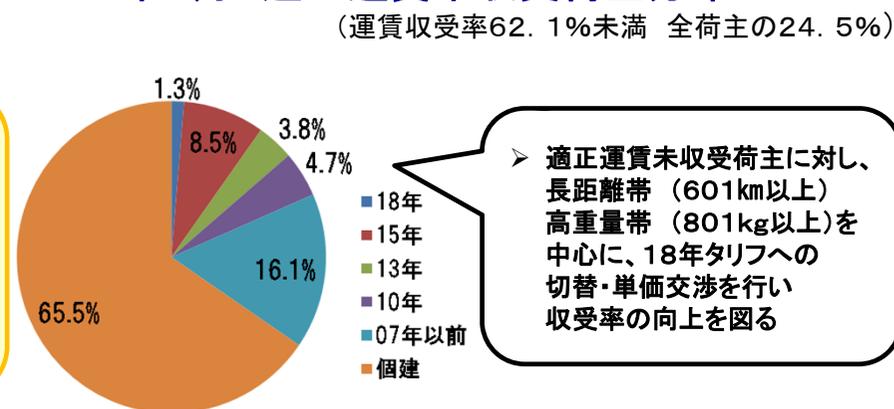
適正運賃未收受荷主改善結果



> 適正運賃未收受荷主占有率
 24.3% ⇒ 17.4%
 (6.9%の改善)
 > 個建契約の改善 30.3%
 07年以前タリフ契約の改善 33.5%

■ 運賃收受率が105.2%伸長したが、伸びしろは残存

2019年3月 適正運賃未收受荷主分布

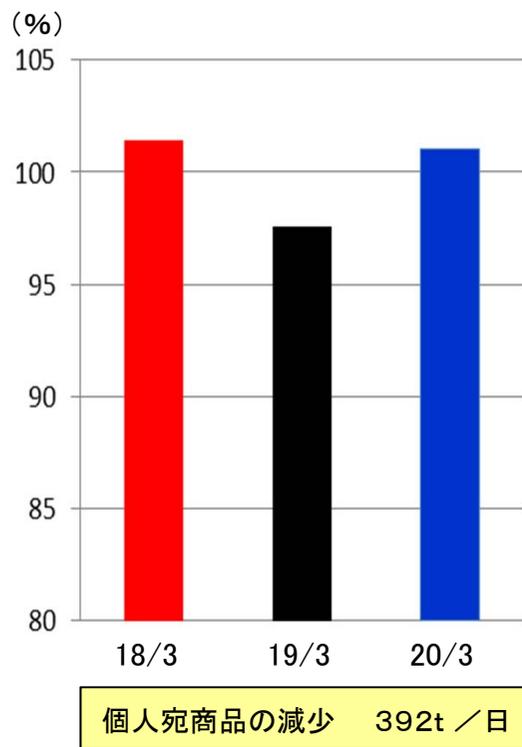


> 適正運賃未收受荷主に対し、
 長距離帯 (601km以上)
 高重量帯 (801kg以上)を
 中心に、18年タリフへの
 切替・単価交渉を行い
 收受率の向上を図る

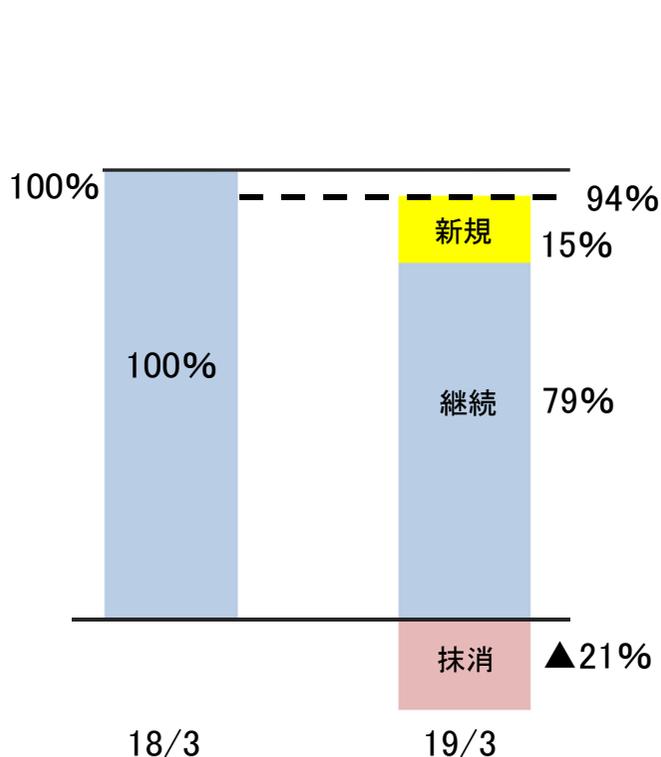
※対象: 西濃運輸 一般便

物量に関する営業政策

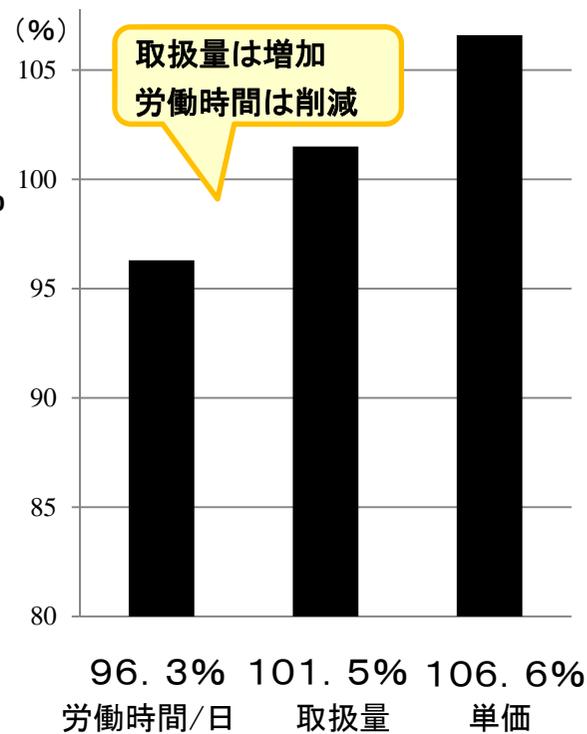
物量推移(前年比)



荷主件数(前年比)



SD時間当たり生産性(前年比)

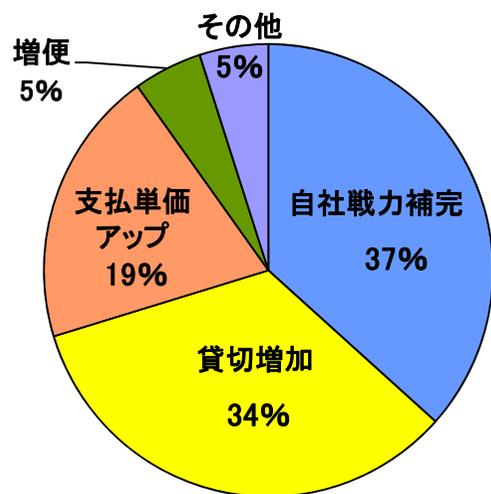


(西濃運輸)

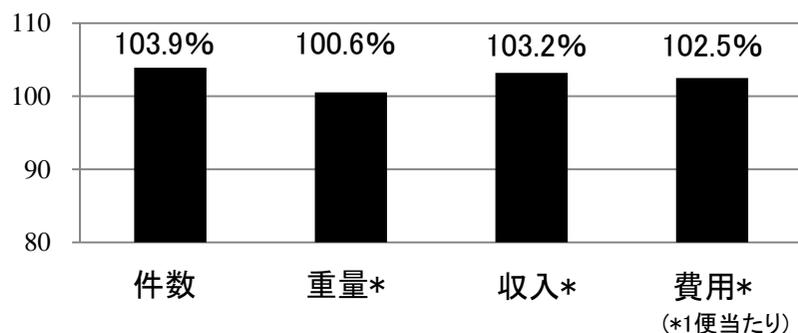
■ 個人宛商品の減少、荷主数の減少により物量減

用車料のコントロール

用車料増加の内訳

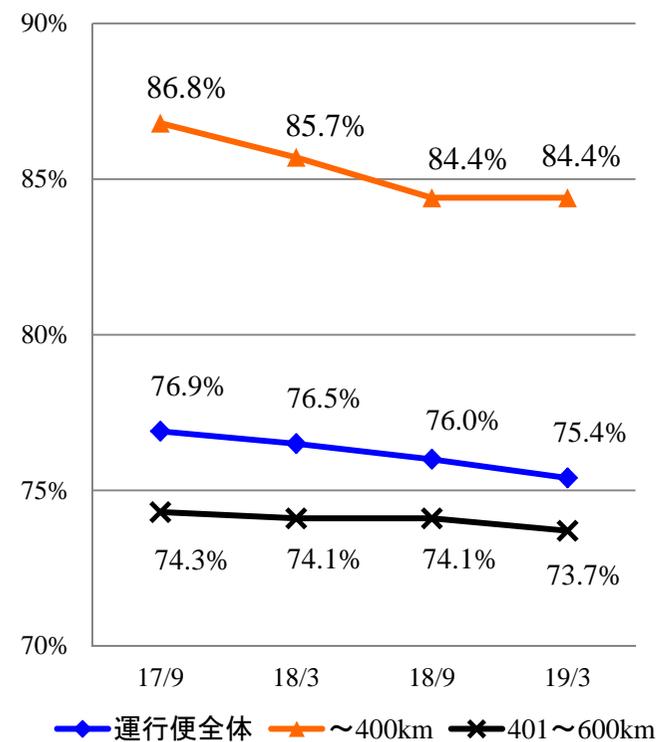


貸切実績前年比



(西濃運輸)

運行便自社化率



地域ナンバー“ワン”への挑戦

トヨタ・日野事業

トヨタ事業

・新型車がない中、軽自動車販売に注力

2019年3月期	実績	前年比
軽自動車	1,612台	210%

日野事業

・車検を中心に整備入庫を促進
保有ビジネスを拡充し、増収増益

2019年3月期	実績	前年比
整備収入	7,482百万円	101%

・岐阜日野

钣金塗装工場稼働

本社整備工場改築

作業の効率化によりES向上

自動車整備ネットワーク

ユニクラ自工(愛知県)

2019年3月期	実績	前年比
売上高	190百万円	106%
営業利益	18百万円	178%

・整備工場改築

2期工事12月完成

改築による作業の効率化と

メカニックの採用・定着促進



海外(フィリピン)

SUBIC GS AUTO INC

2018年12月期	実績	前年比
販売台数	953台	84%
売上高	3,715百万円	106%

販売台数減少も +α の事業展開

・冷凍機の取付け販売・修理実施

・ボディ架装工場開設



セグメント別 業績予想

(単位:百万円)

	売上高				営業利益			
	19/3	20/3(予)	増減額	増減率	19/3	20/3(予)	増減額	増減率
輸 送 事 業	462,459	473,000	10,540	2.3%	24,475	25,700	1,224	5.0%
自動車販売事業	102,233	102,000	▲ 233	▲0.2%	4,850	5,000	149	3.1%
物品販売事業	33,518	33,500	▲ 18	▲0.1%	829	850	20	2.5%
不動産賃貸事業	1,651	1,700	48	3.0%	1,334	1,400	65	4.9%
そ の 他	18,574	19,800	1,225	6.6%	901	800	▲ 101	▲11.3%
調 整 額	-	-	-	-	▲ 1,182	▲ 1,150	32	-
合 計	618,436	630,000	11,563	1.9%	31,209	32,600	1,390	4.5%
経常利益					33,629	34,600	970	2.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益					21,216	31,000	9,783	46.1%

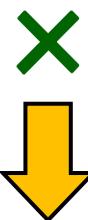
持続的成長の実現

バリューアップ チャレンジ2020

～成長へのテイクオフ～

2017年4月～2020年3月

第2次 総合物流商社の完成



オープン・パブリック・プラットフォーム(O.P.P.)の構築

お客様が享受できるもの

- ◆ セールスアップ(販路・商機・商圈拡大)
- ◆ プロフィットアップ(生産性・効率性向上)
- ◆ コストダウン(固定費圧縮、変動費化)
- ◆ バリューアップ(社会的存在意義向上)

国家社会への貢献 = お客様の繁栄

日本の社会的課題：人口減少は避けられない

日本の効率をアップする

強みの差別化

価値の最大化

イノベーション・創出

安全・環境・CSR

- 国内人口の減少
- 少子高齢化による若年労働力不足
- 都市部への人口集中(地域間格差の拡大)

- 国内貨物輸送量の減少
- 社会構造、消費、流行の変化
- グローバル・ボーダーレス化
- 情報通信による産業変革
- 企業の物流コスト削減

- 安全の確保
- 現実味を帯びる資源の有限性
- 環境保護(環境適応対策)

- 既存ビジネスの成長、効率化、業容拡大
- 新たなビジネスモデルの創出
- シェアリング、マッチングによる業態変革
- 作業機能の効率提供による価値の明確化

環境：E(社会の環境負荷軽減)
 社会：S(社会的課題の解決)
 安全：G(社会的ロスの削減)

ESG

SDGs

事業基盤の拡大
 人的資源確保、人材価値・能力向上
 地球環境、社会貢献
 ステークホルダーが参画する経営

SDGsによる目指すべき方向性

【事業基盤の拡大】

《業容の拡大》



《効率化の追求》

【地球環境、社会貢献】

《O.P.P.》 《安全、安心》



《環境》

《運び方改革》 《社会貢献》

【人的資源確保、人材価値・能力向上】

- 《人材の採用、育成、定着》
- 《働き方(能力発揮意識)改革》
- 《CS、ES、生産性の向上》



【ステークホルダーが参画する経営】

- 《コーポレートガバナンス》
- 《リスクマネジメント》





BtoB物流における盤石なネットワークの構築

人的資源確保、
人材価値・能力向上

全国1DAYネットワークによるリードタイム短縮

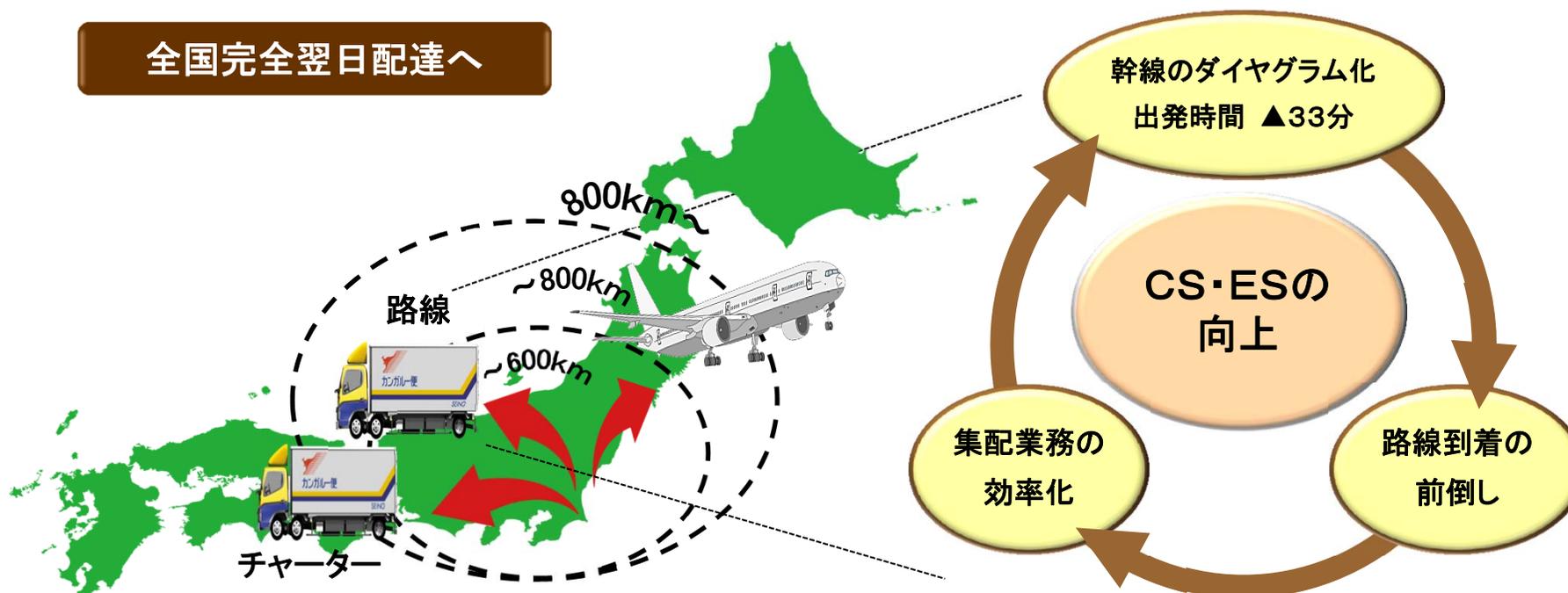
ステップ

2018年3月期
東京～大阪
完全翌日配達

2019年3月期
関東圏～関西圏
完全翌日配達

2020年3月期
全国
完全翌日配達

全国完全翌日配達へ



連結運行による効率化

地球環境、社会貢献

人的資源確保、
人材価値・能力向上

自社運行に加え、共同運行を開始

自社運行

2018年3月 片道運行開始(小牧 ⇒ 藤枝)
2018年7月 往復運行開始(小牧 ⇄ 藤枝)

共同運行

2019年3月 改正物流総合効率化法に基づく認定
2019年4月 4社によるダブル連結トラックの共同運行開始



鉄道・船へのモーダルシフト

地球環境、社会貢献

人的資源確保、
人材価値・能力向上

2030年 日本の温室効果ガス削減目標 26%減 (2013年比)
走行距離600km以上の運行便を鉄道・フェリーにモーダルシフト

カンガルーライナーSS60号を運行開始

フェリーによる運行開始

2018年5月から
大阪府：吹田貨物ターミナル駅 ⇄ 宮城県：仙台港駅間で運行開始

2019年6月から
有明港(東京) ⇒ 苅田港(福岡)へ開始予定



CO2削減量：12,036トン／年
年間排出量の9%相当 (西濃運輸)

世界初 AI利用勾配先読みハイブリッド

地球環境、社会貢献

- CO2排出量削減（15%減）
- 災害時 非常用電源装置としての地域貢献
- アイドリングレスによる環境への貢献





ITによるCS、ESの向上

事業基盤の拡大

人的資源確保、
人材価値・能力向上

お客様の作業と当社の業務効率化

マイセイノーのサービス

出荷支援システム
カンガルー・マジックII
お手持ちのパソコンでインターネット環境を利用した、出荷支援システムです。送り状印刷、出荷支援以外にも使える機能満載!!

配達時間メールサービス
本日の商品が「どこから」「どれだけ」「いつ」届くかを事前に確認できます。

web集荷依頼
24時間インターネットにて集荷依頼ができます。集荷依頼の操作は大変簡単・便利です。

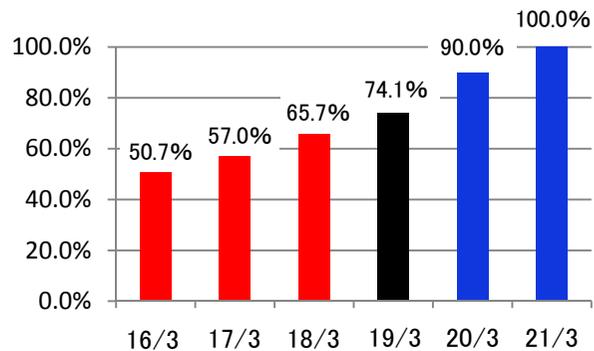
web受領書照会
出荷した商品が、荷受人様に受け取られた際の電子サイン、受領印の画像を、送り状単位に照会できます。

**web請求書発行
web代引振込明細発行**
「代引精算書」「運賃請求書」を発行できます。明細はデータで提供可能です。

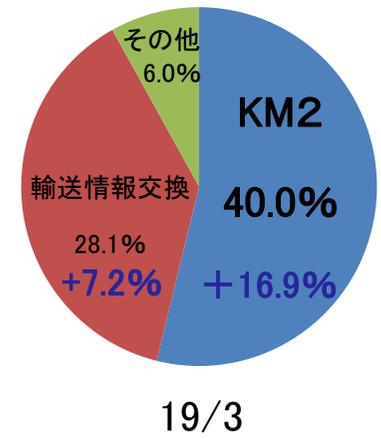
webお届け状況一括確認
出荷した商品の配達状況を一覧形式で照会できます。未配達が無いか一度に確認できます。

webお届け状況、運賃情報確認
出荷した商品の配達状況、運賃情報を送り状ごとに照会できます。

BtoB取引のEDI化率



EDI化率の内訳



- お客様の声を反映させたKM2のバージョンアップ
- EDI化により、覚えなくても、誰でもできる業務のしくみを構築
- セイノーがお客様に提供するWebサービス「マイセイノー」により、お客様の手間を軽減

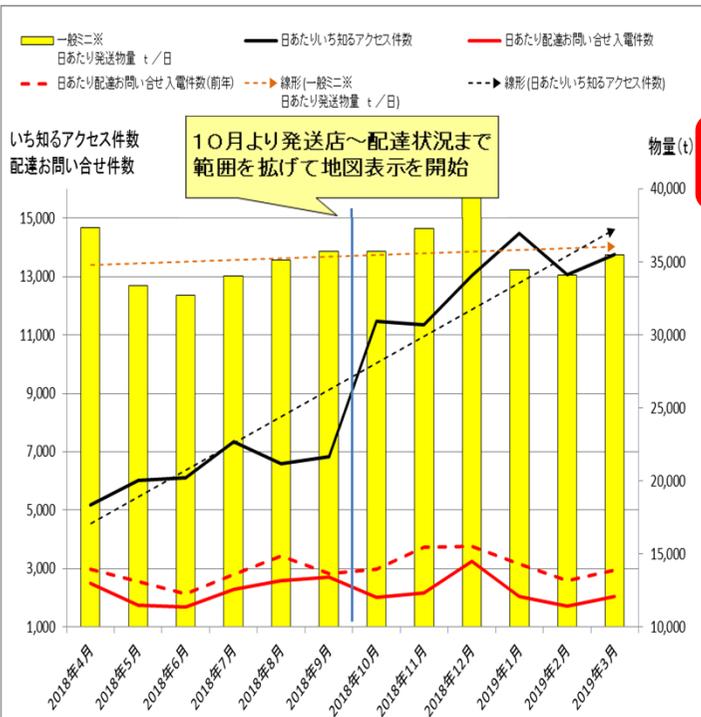


ITと位置情報可視化による効率化

事業基盤の拡大

人的資源確保、
人材価値・能力向上

いち知るアクセス件数と入電推移



チャットサポート



お客様のお問い合わせ内容に対する適切なページをチャットボットがご案内

お客様がお問い合わせをする手間を省き、商品のお届け時間をご提供

配達時間メールサービス

お問い合わせ番号: ○○○○○○
配達営業所: ○○○○

10月5日 10時40分頃
お届けにまいりますので、ご連絡させていただきます。

配達持出時、荷受人様に「商品お届け時間」を自動メール配信

無料 配達時間メールサービス

お客様に20分刻みで配達予定をお知らせ!

もちろんスマホでもOK!



配達ナビ

- AIによる自動ルート組み配達ナビを構築し、誰でも配達できる環境を整備
- 配達時間メールと連動させ、お客様は次工程にご活用

館内物流の広域化とBC(ビジネスセンター)との融合

事業基盤の拡大

街区一帯でのスマートシティ

ステップ

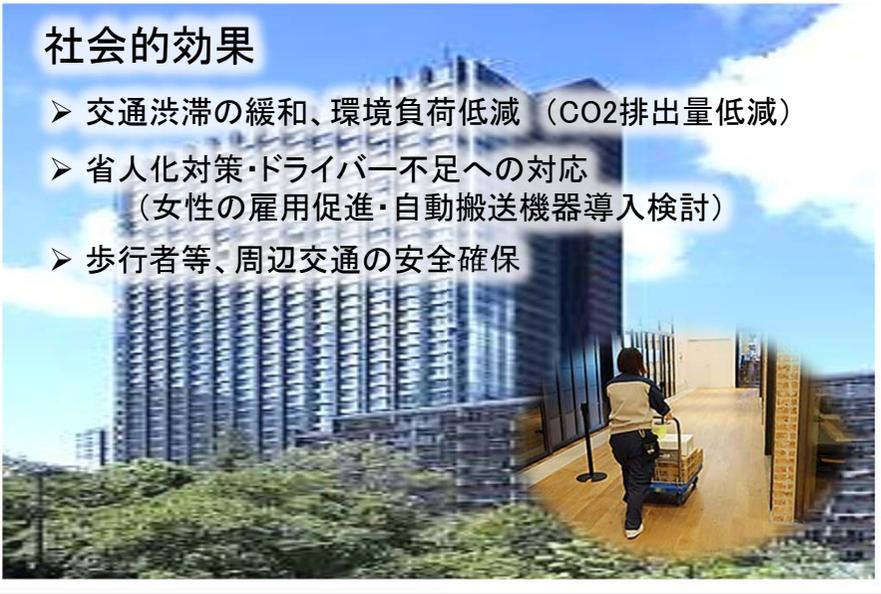
2018年3月期
東京・名古屋の
案件開発



2019年3月期
大阪へ拡大
館内物流とBCを融合



2020年3月期
街区一帯での
スマートシティ実現

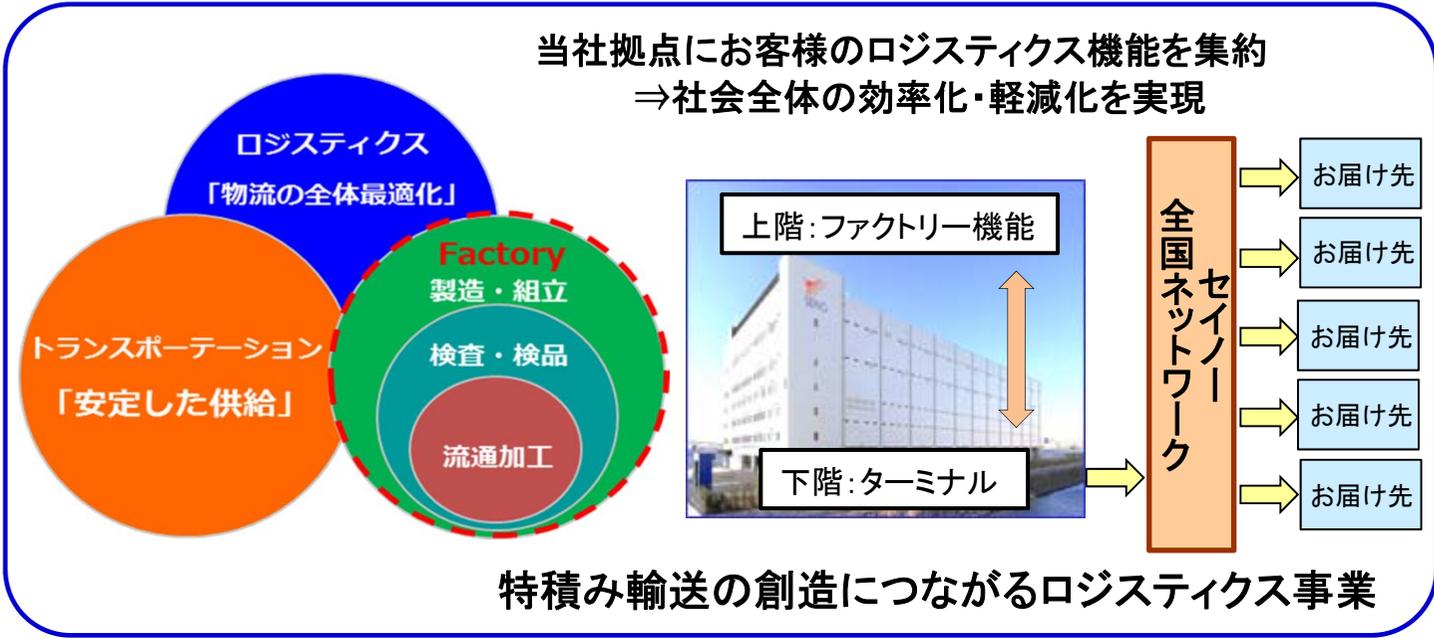
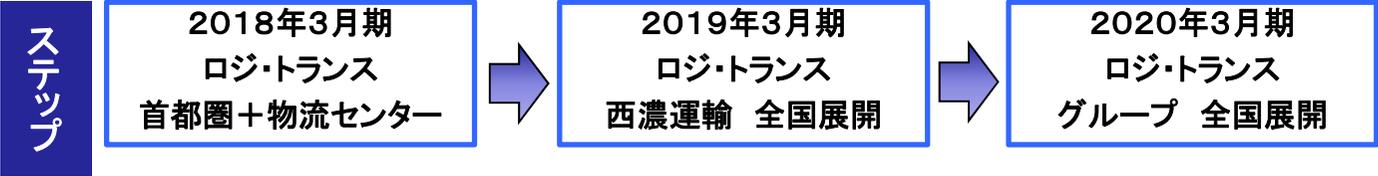


ロジ・トランス機能の拡大

事業基盤の拡大

地球環境、社会貢献

ファクトリー機能による効率化、軽減化の提供



- #### 効率化・軽減化
- 人材採用の負荷軽減
 - トータルリードタイムの削減
 - 荷受け・出荷作業の削減

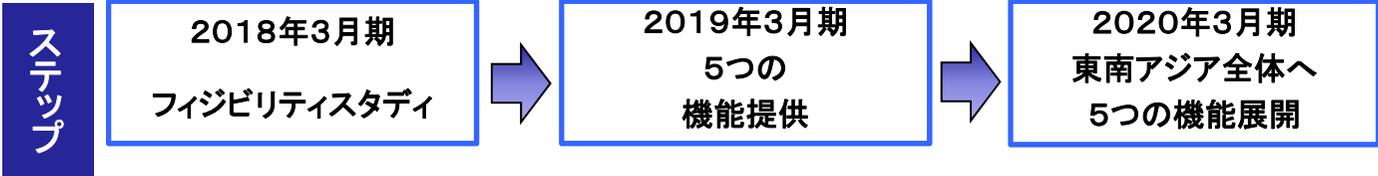
- #### 社会的効果
- 人材の有効活用 (労働力不足対策)
 - 配送レス (環境対応)
 - 集配レス (環境対応)



日系企業の海外流通サポート

事業基盤の拡大

アジア進出日系企業へ物流ネットワークを提供



- 海外現地法人
- タイ
 - インドネシア
 - マレーシア

各国内集配送 フォワーディング クロスボーダー 倉庫 貿易

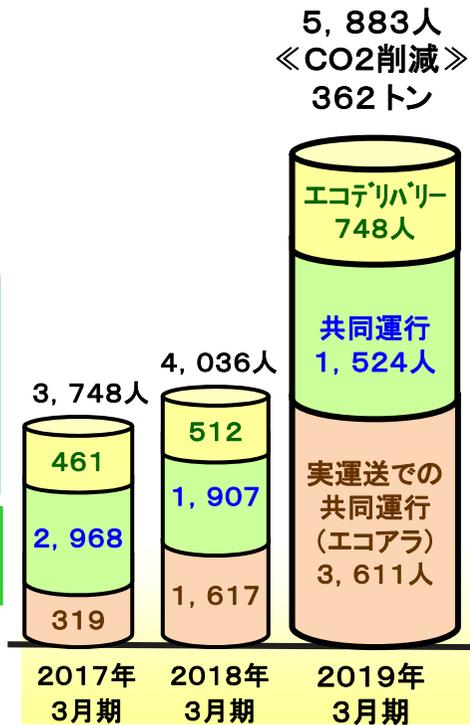
The complex block features a central map of Southeast Asia with three orange callout boxes: 'Seino Saha TH' over Thailand, 'United Seino MY' over Malaysia, and 'Seino Indomobil ID' over Indonesia. Above the map is a blue header bar with the text '各国内集配送 フォワーディング クロスボーダー 倉庫 貿易'. To the right of the map is a photograph of a large warehouse with several yellow and blue trucks parked outside. Below the map are two more photographs: one showing a line of white trucks with SEINO logos, and another showing a modern, multi-story warehouse building with 'WORLD LOGISTICS' signage.

お互いの補完によるCSとESの向上と社会貢献

人的資源確保、
人材価値・能力向上

地球環境、社会貢献

セイノーHD 678 拠点 26,443 人 25,503 台	福山通運 395 拠点 24,037 人 15,955 台
インタンク 165ヶ所	インタンク 215ヶ所



➤ **エコデリバリー(共同一括配送サービス)**

- ・59ヶ所(エリア9ヶ所、荷主50ヶ所)運用
(新設:6ヶ所 今年度目標:8ヶ所)
- ・荷待ち時間削減に関する情報交換

大型物流倉庫、
過疎地域での協業

➤ **共同運行による幹線輸送の効率化**

- ・181コース(新設:70コース、今年度目標:70コース)
- ・コンテナのラウンド輸送 8コース(新設:2コース)

ダイレクト運行、
ペア店の拡大

➤ **エコアライアンスでの実運送を伴った共同運行**

- ・22コース(新設:12コース、今年度目標:13コース)

➤ **企業間防災協定**

➤ **社会奉仕活動**

➤ **共同購入・仕入れ・販売**

➤ **車両事故防止教育活動**

- ・新人SDの基本動作習慣づけ
- ・路線乗務社員の接岸時、後突事故防止

共通課題の解決

※ 国内輸配送関係のみ
※ 2019年3月31日現在



社会奉仕活動



車両事故防止教育活動(安全督励)

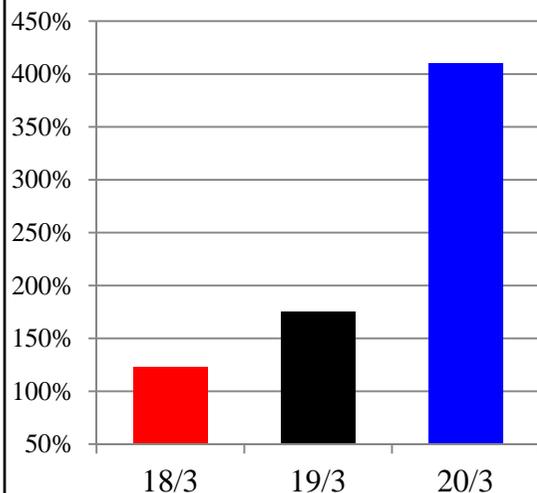


2019年6月 協業のシンボル成田支店オープン

地球環境、社会貢献

国内⇔国際の一貫輸送でお客様の手間を削減

輸送取引高前年比



阪急阪神エクスプレス入居

西濃運輸トラックターミナル



セイノーの国内ネットワーク/ロジクス機能と阪急阪神のグローバルネットワークが融合



東南アジアでの協業

コミュニティ・コンシェルジュの展開

事業基盤の拡大

地球環境、社会貢献

御用聞き、お届けサービス

ステップ

2018年3月期
政令指定都市での展開



2019年3月期
地方都市部での展開



2020年3月期
多言語対応による
アジア展開

ハーティスト

スパイダーデリバリー



- ハーティスト(女性中心)によるお届け
- 買い物弱者(高齢者、有職女性、障がい者)対策

- スパイダーデリバリーの展開 (ライフコーポレーションと業務提携)
- DSSの導入 (デリバリー・ソリューション・ソース)

メーカーとバイヤーをつなぐ「企画商社」

事業基盤の拡大

購入したくなる商品づくりと販路拡大

ステップ

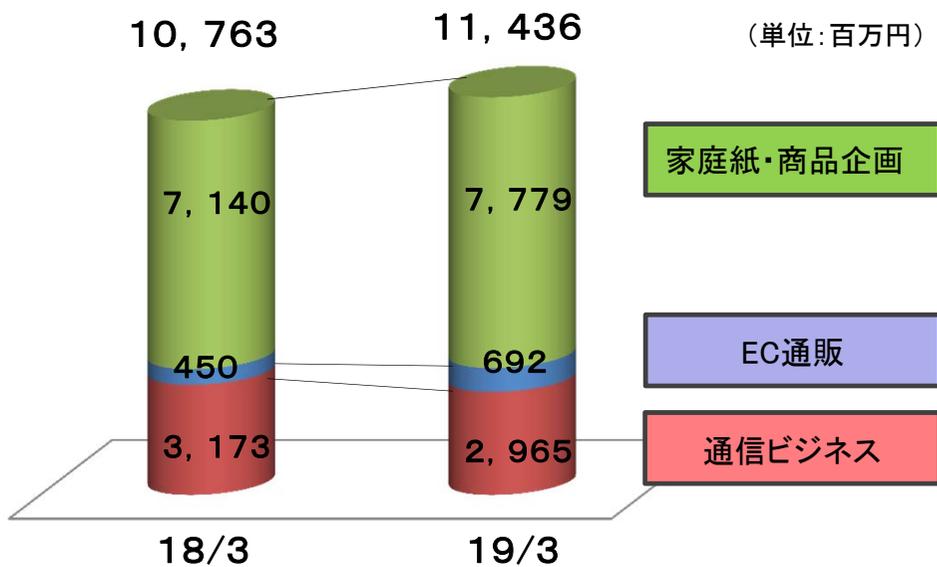
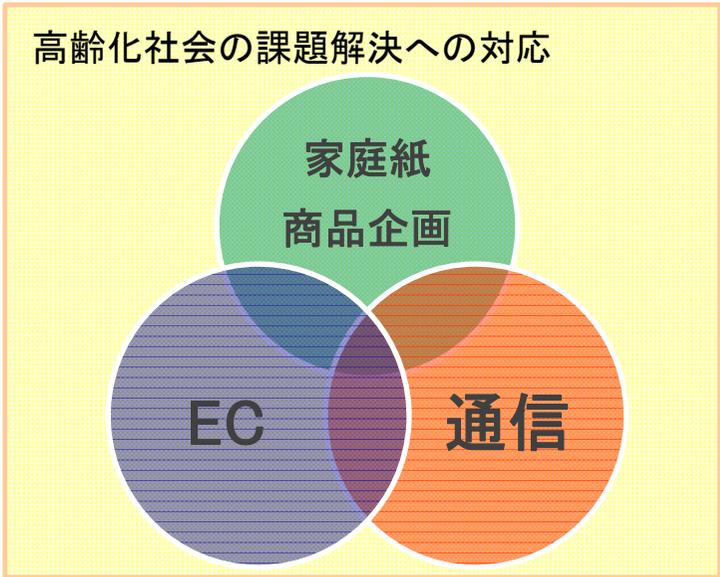
2018年3月期
メーカーの
商品開発 支援



2019年3月期
Eコマース
販売チャネルの充実

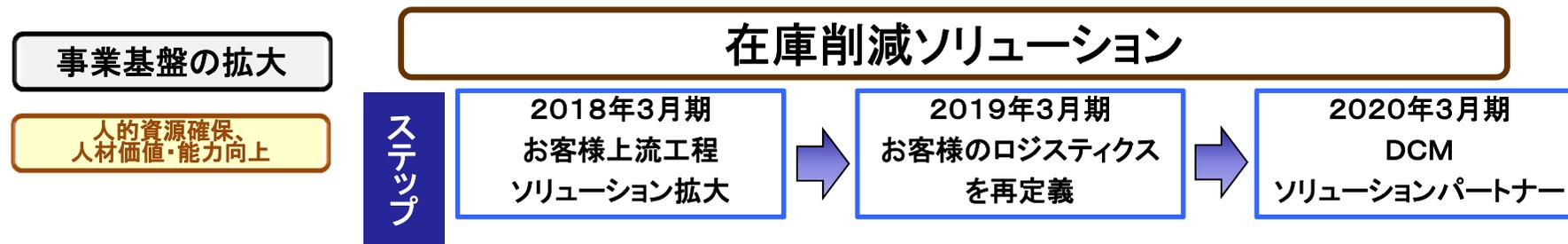


2020年3月期
国内でのサービスを
海外へ





デマンド・チェーン・マネージメント・ソリューションパートナー



お客様の物流業務効率化により20%の生産性向上を実現する

- 物流コンサルティング
コンサルタントがお客様の経営環境を正しく分析のうえ課題を明確化し、ITを効果的に活用した解決策を提供
- 物流業務アウトソーシング
マネジメントセンターがお客様業務の前工程・後工程をBRAIS(Bigdata Robot AI IoT Sharing)も活用し、効率化

お客様の労働力不足に対応

2019年3月期

- 上流コンサルへのシフト
要員数目標:120人 実績:120人
- オフショアの拡大・・・内製化比率低減
内製化比率目標:26% 実績:26%

人的資源確保・人材価値向上と、労働人口減少下における価値提供

人的資源確保、
人材価値・能力向上

地球環境、社会貢献

ステップ

夢と希望と誇りを感じられる企業を目指す

2018年3月期
多様な人材受け入れ
環境構築

2019年3月期
プラスα目線をもった
人材育成

2020年3月期
自発行動できる
人材育成

採用

- ・高卒新卒採用の拡大
(昨年145名⇒本年283名)
- ・運転免許取得促進と職種変更の推進
(大型、中型、準中型、牽引、AT限定解除)
⇒路線への職種変更87名
- ・自動車免許学校のグループ化
- ・外国人採用(本年新卒9名採用)

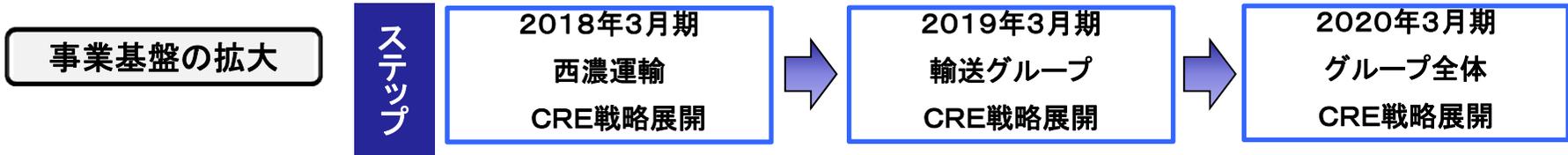
育成

- ・Eラーニング、教育動画、ライブ授業など
多様な育成プログラムの実施
- ・人事制度とリンクした研修制度の充実

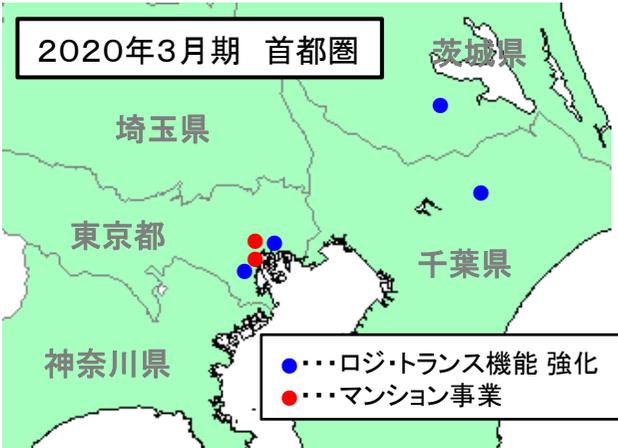
定着

- ・定着率(STC) 路線 96.5%、SD 95.4%
- ・独身寮の新規購入・大規模改修
- ・選択型確定拠出年金制度の導入
- ・多様な働き方の実施
(時間帯社員・女性・高齢者・定年延長)
- ・ライフステージに合った就業制度の検討
(時短勤務、育児・介護への対応)
- ・健康経営の推進
beyond2020 マイベストプログラムへの参加

CRE戦略に基づく不動産の取得と活用



- ～ 2019年3月期 振り返り～
- ▶ 物流拠点開発および土地取得
 - 建替え移転 STC静岡(倉庫増設)
 - 土地取得 茨城県阿見町 12,700坪
 - ▶ 遊休・低利用不動産の売却および高収益化
 - 売却 ・旧静岡支店
 - 高収益化 ・旧静岡西、旧京都五条 他



- 物流センター拡大
- 共同利用施設
- 不動産賃貸収入増

- ～2020年3月期 取り組み～
- ▶ 輸送ネットワーク強化の推進 (5ヶ年計画)
 - 新築・建替え・増設計画 (ロジ・トランス機能強化)
 - ・首都圏 4拠点 ・中部 2拠点 ・関西 2拠点 ・合計 8拠点
(内、輸送グループ 共同利用 3拠点)
 - ・その他 施設計画あり
 - ▶ 遊休・低利用不動産の売却または高収益化への転換
 - 都内 低利用不動産 高収益化
 - ・都内 新築マンション建設 2棟(今年度着工予定)
 - 旧東京支店 売却 ・圧縮記帳(買換え特例)の活用

安全・安心な交通社会の実現

地球環境、社会貢献

必要な運転技能、点検技術の更なる向上

安全推進インストラクターによる指導



- 事故を発生させない運転技能習得
- 法規走行、点検技術、関係法令の知識を伝授
- エコ安全ドライブによる燃費改善
- ドラコン手法による安全指導の推進
- ドライブレコーダーによる安全運転検証

「エコ運転」＝「安全運転」

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に
基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問合せ先

セイノーホールディングス株式会社

財務IR部

〒503-8501 岐阜県大垣市田口町1番地

TEL:0584-82-5023 FAX:0584-82-5045

<http://www.seino.co.jp/seino/shd/>

E-mail: i.r@seino.co.jp

2019年3月期 決算説明会補足資料

業績概要

2019年5月17日

セイノーホールディングス株式会社

1. 主要な経営指標等の推移

決 算 期	単位	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
売 上 高	百万円	567,539	596,130	618,436
営 業 利 益	百万円	27,116	27,879	31,209
営 業 利 益 率	%	4.8	4.7	5.0
経 常 利 益	百万円	28,909	29,120	33,629
経 常 利 益 率	%	5.1	4.9	5.4
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	18,206	20,046	21,216
自己資本利益率（ROE）	%	4.9	5.2	5.2
純 資 産 額	百万円	381,299	405,739	426,207
総 資 産 額	百万円	594,263	628,728	657,983
総 資 本 利 益 率（ROA）	%	3.1	3.3	3.3
自 己 資 本 比 率	%	63.1	63.4	63.8
総 資 産 経 常 利 益 率	%	4.9	4.8	5.2
1 株 当 たり 純 資 産 額（BPS）	円	1,912.12	1,998.90	2,057.98
有 利 子 負 債 対 自 己 資 本 比 率	%	5.1	4.9	6.0
株 価 純 資 産 倍 率（PBR）	倍	0.65	0.98	0.72
1 株 あ たり 当 期 純 利 益（EPS）	円	92.09	101.88	104.85
株 価 収 益 率（PER）	倍	13.6	19.2	14.1
営業活動によるキャッシュフロー	百万円	34,871	41,286	48,008
投資活動によるキャッシュフロー	百万円	△ 17,840	△ 26,271	△ 22,530
財務活動によるキャッシュフロー	百万円	△ 8,483	△ 7,180	△ 7,193
現金及び現金同等物の期末残高	百万円	72,365	80,214	98,462
従 業 員 数	名	27,627	28,006	28,539

2. 決算概要推移

(単位:百万円、%)

科 目	2017年3月期				2018年3月期				2019年3月期			
	金額	構成比	前年増減額	増減率	金額	構成比	前年増減額	増減率	金額	構成比	前年増減額	増減率
売 上 高	567,539	100.0	12,081	2.2	596,130	100.0	28,590	5.0	618,436	100.0	22,306	3.7
輸 送 事 業	422,869	74.5	6,756	1.6	443,167	74.3	20,298	4.8	462,459	74.8	19,291	4.4
自動車販売事業	100,237	17.6	5,796	6.1	103,342	17.3	3,105	3.1	102,233	16.5	△ 1,108	△ 1.1
物品販売事業	27,749	4.9	△ 279	△ 1.0	31,575	5.3	3,825	13.8	33,518	5.4	1,942	6.2
不動産賃貸事業	1,542	0.3	71	4.8	1,598	0.3	55	3.6	1,651	0.3	52	3.3
そ の 他	15,140	2.7	△ 262	△ 1.7	16,445	2.8	1,305	8.6	18,574	3.0	2,128	12.9
営 業 費 用	540,422	95.2	11,151	2.1	568,251	95.3	27,828	5.1	587,227	95.0	18,976	3.3
人 件 費	196,441	34.6	3,486	1.8	203,532	34.1	7,091	3.6	210,245	34.0	6,713	3.3
燃 料 費	13,640	2.4	△ 718	△ 5.0	15,417	2.6	1,776	13.0	17,014	2.8	1,597	10.4
減 価 償 却 費	16,976	3.0	937	5.8	17,775	3.0	798	4.7	19,000	3.1	1,225	6.9
傭車料・取扱手数料 外注費	157,327	27.7	2,809	1.8	166,777	28.0	9,449	6.0	173,172	28.0	6,395	3.8
通 行 料	7,949	1.4	61	0.8	8,016	1.3	66	0.8	8,001	1.3	△ 14	△ 0.2
そ の 他	148,086	26.1	4,574	3.2	156,732	26.3	8,645	5.8	159,791	25.8	3,059	2.0
営 業 利 益	27,116	4.8	930	3.6	27,879	4.7	762	2.8	31,209	5.0	3,330	11.9
営業外収益	2,129	0.4	△ 372	△ 14.9	2,011	0.3	△ 117	△ 5.5	2,868	0.5	856	42.6
営業外費用	337	0.1	△ 75	△ 18.3	770	0.1	433	128.5	448	0.1	△ 322	△ 41.8
経 常 利 益	28,909	5.1	633	2.2	29,120	4.9	211	0.7	33,629	5.4	4,509	15.5

3. セグメント別営業費用比較

(単位:百万円、%)

営業費用	2017年3月期			2018年3月期			2019年3月期		
	金額	前年増減額	増減率	金額	前年増減額	増減率	金額	前年増減額	増減率
輸送事業									
人件費	175,286	3,045	1.8	181,297	6,010	3.4	187,110	5,812	3.2
燃料費	13,361	△ 680	△ 4.8	15,075	1,714	12.8	16,628	1,552	10.3
減価償却費	14,992	871	6.2	15,653	661	4.4	16,950	1,296	8.3
備車料・取扱手数料	157,327	2,809	1.8	166,777	9,449	6.0	173,172	6,395	3.8
外注費	7,949	61	0.8	8,016	66	0.8	8,001	△ 14	△ 0.2
その他	35,907	△ 12	△ 0.0	37,427	1,519	4.2	38,422	994	2.7
小計	404,824	6,094	1.5	424,248	19,423	4.8	440,285	16,037	3.8
自動車販売									
人件費	13,379	303	2.3	13,395	15	0.1	13,361	△ 34	△ 0.3
燃料費	203	△ 13	△ 6.0	215	11	5.7	232	17	8.0
減価償却費	1,861	31	1.7	1,918	57	3.1	1,761	△ 157	△ 8.2
その他	88,402	5,573	6.7	92,497	4,095	4.6	93,274	777	0.8
小計	103,846	5,895	6.0	108,026	4,179	4.0	108,629	603	0.6
物販									
人件費	1,406	△ 1	△ 0.1	1,444	37	2.7	1,426	△ 17	△ 1.2
燃料費	5	△ 0	△ 7.1	6	△ 0	10.9	6	△ 0	5.8
減価償却費	42	3	10.5	38	△ 3	△ 8.9	49	11	30.6
その他	45,149	△ 1,263	△ 2.7	49,905	4,755	10.5	52,696	2,791	5.6
小計	46,603	△ 1,261	△ 2.6	51,393	4,790	10.3	54,179	2,785	5.4
不動産賃貸									
減価償却費	54	16	43.3	62	8	14.8	83	21	34.8
その他	210	3	1.9	297	87	41.6	232	△ 64	△ 21.8
小計	264	20	8.3	359	95	36.1	316	△ 43	△ 12.0
その他									
人件費	7,386	107	1.5	8,166	780	10.6	8,800	633	7.8
燃料費	70	△ 24	△ 25.9	120	49	69.9	147	27	22.8
減価償却費	362	27	8.2	445	82	22.8	529	83	18.8
その他	16,685	△ 14,217	△ 46.0	19,509	2,824	16.9	24,066	4,556	23.4
小計	24,505	△ 14,106	△ 36.5	28,242	3,736	15.2	33,543	5,301	18.8
調整									
人件費	△ 1,018	31	-	△ 771	246	-	△ 453	318	-
減価償却費	△ 335	△ 12	-	△ 343	△ 7	-	△ 373	△ 30	-
その他	△ 38,268	14,490	-	△ 42,905	△ 4,636	-	△ 48,901	△ 5,996	-
小計	△ 39,622	14,508	-	△ 44,019	△ 4,397	-	△ 49,727	△ 5,708	-
営業費用合計									
人件費	196,441	3,486	1.8	203,532	7,091	3.6	210,245	6,713	3.3
燃料費	13,640	△ 718	△ 5.0	15,417	1,776	13.0	17,014	1,597	10.4
減価償却費	16,976	937	5.8	17,775	798	4.7	19,000	1,225	6.9
備車料・取扱手数料	157,327	2,809	1.8	166,777	9,449	6.0	173,172	6,395	3.8
外注費	7,949	61	0.8	8,016	66	0.8	8,001	△ 14	△ 0.2
その他	148,086	4,574	3.2	156,732	8,645	5.8	159,791	3,059	2.0
合計	540,422	11,151	2.1	568,251	27,828	5.1	587,227	18,976	3.3

4. 従業員の推移

(単位:名、%)

輸送事業	2017年3月期	前年対比		2018年3月期	前年対比		2019年3月期	前年対比		
		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率	
管 理 職	1,752	39	2.3	1,798	46	2.6	1,860	62	3.4	
非 管 理 職	乗 務 社 員	16,481	△ 36	△0.2	16,592	111	0.7	16,728	136	0.8
	非 乗 務 社 員	6,544	325	5.2	6,681	137	2.1	6,954	273	4.1
	非 管 理 職 計	23,025	289	1.3	23,273	248	1.1	23,682	409	1.8
計	24,777	328	1.3	25,071	294	1.2	25,542	471	1.9	

自動車販売事業	2017年3月期	前年対比		2018年3月期	前年対比		2019年3月期	前年対比	
		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率
管 理 職	366	△ 3	△0.8	376	10	2.7	374	△ 2	△0.5
非 管 理 職	1,488	41	2.8	1,475	△ 13	△0.9	1,513	38	2.6
計	1,854	38	2.1	1,851	△ 3	△0.2	1,887	36	1.9

物品販売事業	2017年3月期	前年対比		2018年3月期	前年対比		2019年3月期	前年対比	
		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率
管 理 職	42	△ 3	△6.7	51	9	21.4	52	1	2.0
非 管 理 職	162	△ 1	△0.6	154	△ 8	△4.9	149	△ 5	△3.2
計	204	△ 4	△1.9	205	1	0.5	201	△ 4	△2.0

そ の 他	2017年3月期	前年対比		2018年3月期	前年対比		2019年3月期	前年対比	
		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率
管 理 職	180	2	1.1	195	15	8.3	218	23	11.8
非 管 理 職	612	△ 13	△2.1	684	72	11.8	691	7	1.0
計	792	△ 11	△1.4	879	87	11.0	909	30	3.4

合 計	2017年3月期	前年対比		2018年3月期	前年対比		2019年3月期	前年対比	
		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率
管 理 職	2,340	35	1.5	2,420	80	3.4	2,504	84	3.5
非 管 理 職	25,287	316	1.3	25,586	299	1.2	26,035	449	1.8
合 計	27,627	351	1.3	28,006	379	1.4	28,539	533	1.9

5. 車両の状況

保有営業車両の状況（輸送事業）

（単位：台）

区分		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
		台数	対前年比	台数	対前年比	台数	対前年比
大型車		6,502	△ 31	6,508	6	6,652	144
	ヘッド	318	20	324	6	322	△ 2
	シャーシ	450	6	454	4	440	△ 14
中型車		11,708	△ 61	11,737	29	11,737	0
小型車		1,474	27	1,491	17	1,533	42
軽自動車		631	46	698	67	912	214
その他		3,131	90	3,172	41	3,282	110
合計		24,214	97	24,384	170	24,878	494